

# 2020年は郷土の偉人

## 「末松 謙澄」の没後100年を迎えます

けんちょう

明治期に中央政界で活躍した政治家であり、幅広い文化人

末松謙澄生誕之地

### ▲末松 謙澄生誕地（行橋市前田）

1980年に末松謙澄顕彰会により石碑が立てられました。

### 末松 謙澄の生涯 略歴

- 安政2年—豊前国京都郡前田村（現・行橋市前田）に大庄屋の四男として誕生。
- 慶応元年—地元の村上仙山の私塾「水哉園」で学ぶ。
- 明治7年—東京日日新聞社入社。
- 明治8年—伊藤博文に認められて官僚に。
- 明治11年—外交官としてイギリスに赴任。
- 明治13年—イギリスのケンブリッジ大学へ入学。
- 明治15年—ロンドンで英訳『源氏物語』を出版。
- 明治19年—帰国。演劇改良会を首唱発足、翌年初めての天覧劇演出。
- 明治22年—伊藤博文の次女・生子と結婚。
- 明治23年—第1回衆議院議員選挙に当選。
- 明治25年—法制局長官、明治31年逓信大臣、明治33年内務大臣。
- 大正9年—8月『防長回天史』初版本完成。
- 大正9年—10月65歳で逝去。

この機会に謙澄の文化、芸術面での活躍に光をあて、次号より12回にわたりさまざまな活躍を連載していきます。

文化人末松謙澄

▲題字 書家 棚田 看山さん

前列中央が伊藤博文。後列右から2人目が末松謙澄、前列左端が妻の生子（博文の次女）。



▲末松・伊藤家の家族写真



けんちょう 末松 謙澄 (1855 ~ 1920)

### YUKUHASHI BIENNALE Art Forum 2019

ゆくはしビエンナーレでは、歴史上の人物をテーマに彫刻作品の公募を行ってきました。3回目今回は、末松 謙澄をテーマに作品を募集します。今回、作家・国文学者の林 望さんの講演を基調に、芸術や文化などさまざまな視点からディスカッションし、新たな謙澄の姿に迫ります。

11/9 (土)

14時～16時30分(開場13時)  
行橋商工会議所 3階大研修室  
参加費：1,000円 ※高校生以下無料  
定員：150名 要申込・申込順



林 望さん (作家・国文学者)